

種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ:( 種子島の自然・観光 )

写真やイラスト及びその説明 / 場所(地図上に書き込み, 説明を書く)

※ 注意…単なる引き写しではなく、オリジナリティーを追究し、面白い内容を目指すこと。

喜志鹿崎灯台



1 喜志鹿崎灯台

種子島の最北端。空気が澄んでいる日は、大隅半島や開聞岳が見える。東シナ海と太平洋を結ぶ大隅海峡は国際海峡にもなっている。

浦田海水浴場



2 浦田海水浴場

白い砂浜と青い海が魅力。入江になっているため、風も静かで、緑も豊か。海水浴だけでなく、フィッシングやスノーボード、キャンプなどもできる。管理棟もあるため快適に過ごせる。

ヘゴ自生群落



3 ヘゴ自生群落

ヘゴは熱帯、亜熱帯のシダ植物で低温で湿度の高い林中にあり。国上太田のヘゴは、小川の流域約1キロに自生する大群落で他に例が見られない。

天女ヶ倉



4 天女ヶ倉

太平洋を見下ろせる絶景スポット。近くに天ヶ倉神社がある。天狗が種子島の南まで大きな石を運ぶ途中に休憩して、石を背負っていた縄が木で止まり、石をそのまま置いていったとされる石が祀られている。

雄龍雌龍の岩



7 雄龍雌龍の岩(背景:屋久島)

ある嵐の夜崖崩れにあり海に投げ出された、達五郎・達江という夫婦の生まれ変わりという伝説のある岩。右が雄龍、左が雌龍と呼ばれている。

アコウのアーチ



12 アコウのアーチ

道路の上をまるでトンネルのように成長した珍しいアコウの木。アーチの下を車で通ることができ、幹の直径も大きいとこで1.5メートル以上もある。

ガジュマル



10 ガジュマル

種子島を北限とするクワ科の常緑喬木で幹や枝から多くの気根を生じ美観を呈する。主として南西諸島、沖縄、台湾、熱帯地方に生育する。

よきの海水浴場



9 よきの海水浴場

国道58号線沿いにあるよきの海水浴場は、夕方には水平線に沈む夕日のスポットとなる美しい海水浴場です。日光浴や海水浴を楽しむファミリーに人気の浜です。周辺の砂浜は、よい浜がくるとサーファーにも人気。

夕暉が丘



6 夕暉が丘

夕日の眺めがきれいな場所。ここには戦艦大和の慰霊碑、平和の塔が設置されている。西を眺めれば、見下ろせば、海の方には、馬毛島が見える。

大城海岸



3 大城海岸

海蝕洞や奇岩の多い美しい海岸です。名前の由来は、第10代島主、種子島幡時が修馬伝道の大船使いで、その修行の場があったことにちなむとされている。近くには馬立の岩屋と呼ばれる月穴がある。

千座の岩屋



1 千座の岩屋

種子島の東海岸にあり、奇岩が広がっており、種子島最大の海蝕洞窟で、中には千人が座るともいわれています。洞窟に入るのは干潮のみで、近くには海水浴場があり、観光客に人気。

門倉岬



10 門倉岬(鉄砲伝来の地)

種子島最南端の岬。鉄砲伝来を伝えるための鉄砲伝来紀功碑が建立されており、その他展望台、モニュメント、御崎神社がある。

鉄浜海岸



11 鉄浜海岸

鉄浜海岸は、周辺一帯で昔から砂浜が採れることからこの地名がつけられている。種子島で最もメジャーなサーフポイントです。

下二つ川瀧



8 下二つ川瀧(かっぱ瀧)

住吉能野にある小さな瀧。能野大橋が架かっている下二つ川の瀧です。下二つの長さは約2キロです。河川からは約1キロとされている。

マンクローブ原生林



マンクローブ原生林

「ムルヒギ」の自生地としては、種子島が唯一の地とされている。「種子島のマンクローブ」林として環境省「日本重要湿地500」にも選ばれている。ボードウォークも歩いて観察もでき、シーカヤックにも乗れます。



※ 参考文献/出典(著者名, 書名, 出版社名, 出版年), HP(サイト名, URL)

- (例)・井元正流『種子島』(春苑堂出版, 平成11(1999)年)
- ・西之表市役所HP (<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>)

- ・種子島マップ
- ・種子島観光協会HP(<https://tanekan.jp>)

評価

A: オリジナルな見解が盛り込まれている。 B: 一通り書けている。 C: 不十分な分量・内容。